

玉葱

台湾に適合した
品種とその
栽培法。
——王維生——

ません。球の重さは普通
に一五〇—二〇〇グラム
(四—五莖兩)で、形が整
つた扁平狀をなして居り
、外皮は薄い單皮で、淡
い赤黃色をしています。
球の肉質は極上で、辣味
が少く、貯藏力は中等、早
期に市場に出荷しても良
く、また短期の貯藏も可
きます。栽培の適地は砂
質土、または砂質壤土です。播
種の適期は八月下旬から九月
上旬で、これより遅いと結球
作用がうまく行きません。施
肥の要點は磷酸肥料を早期に
施し、その後中耕を行つて
土壌内の空氣の流通を良くす

栽培要點

突出している。長期の貯藏に耐へないのが缺點ですが、栽培法が正しければ、他の品種よりも收量が多い。肉質は柔軟で美味。栽培地は砂土あるいは砂質壤土を選び、北部では九月上旬から下旬頃に播種します。この品種は多収系のものですから、施肥を多くし、殊に磷酸肥料を充分に施して、貯藏力を強化する事が大切です。

【育苗】玉葱の栽培は、育苗技術が収量に大きく影響し、育苗の成功は栽培の成功とも云へます。この時期に最も注意すべき事は、玉葱は酸性土壌では良好な生育をしませんから、この様な土壌を苗床として使用しない事です。また、乾燥地も不適で常に適當な湿度を保つてゐる土壌が望ましい。然し、少々位の酸性土壌は、石灰あるいは藁灰を施し、腐熟堆肥で地力を補救すれば、健全な苗を養成できます。

育苗の要點は次の如くに行ひます。先ず、苗床用の土を充分に耕す、土塊は細

短棚形苗床

→厚さ6センチの堆肥。

【栽培距離】 幅一・二メートル（四尺）の畦上に、四行に栽培し、株間を十二センチ（四寸）にします。冬季に乾燥する地方では、畦を高く低くし、低湿な地方では、畦を狭く高くして排水と通氣を良好にします。

【施肥】 肥料は窒素のほかに、磷酸と加里を併用すべきです。これは病蟲害に對する抵抗と貯藏力を強化するためです。磷肥は生育初期に必要な成分で、定植後二十五日頃に施します。追肥は普通土窒素肥料を使用し、北部では一月下旬から二月上旬に追肥を終へる様にします。次に參考までに施肥の一例を示してみましたが、地方によつて情況の違ふ所では、自分で幾分の加減をして下さい。

基肥（毎十公畝施用量）
堆肥 一六〇〇公斤
過磷酸加里 四二公斤
（每十公畝施用量）

第三次一定植後五十日
第四次一定植後六十日
第五次一定植後七十日
第六次一定植後八十日

【害蟲驅除】葱小葉蛾、葱薊馬（ネギノアザミウマ）、蚜蟲等の害蟲は五パーセントの水溶性BHCを一〇〇〇倍に薄めたものを使用する。か、或は二〇パーセントの水を多量に加へて、根端から離れた所に施す。根端に直接施したてはならない。）

【本圃管理】玉葱は、通氣が良好で、濕氣の適當な土壌を好むため、畦面は常に鬆軟に保つ必要があります。中耕は必らず五回以上行ひ、土面が乾き過ぎた時には時々灌水をします。

農業小智識

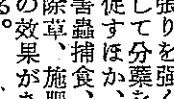
知識小農業

を助け、根張りを強く促す分薬を、除草、施肥の効果があ

り深く根を伸ばして、分薬が抑えられ、分薬位が上昇して弱勢分薬が多くなる。

△鋸屑は藁根類の約二倍の吸水力をもつてゐるから、既含の揮草代用としてよい。

△水田養魚は水を攪拌して肥料分解



幸に、右の兩點を満足するものに、南歐産のバミニューダ系の如き玉葱があり、この品種は十二時間の照射時間で結球が完全に行はれます。次に本省の栽培に適する玉葱について、その品種と栽培法を述べてみませう。

エクセル・バミニューダ

この品種はバミニューダ系統の中でも最良のもので、アメリカのカルフオルニヤで育成されたものです。結球率が非常に良好で、十一時間半の照射で結球を開始します。抽苔性が極少で、外觀は莖葉が細く、淡い黄緑色をしています。この品種の特徴は鱗球の肥大するにつれて、葉が徐々に枯れますが、結球が完成しても一般の品種の様に倒伏し

ると生育を促進します。

アーリー・グラノ

この品種はアメリカ西部及び南部産の早生品種で、その中でもテキサス系が本省の風土に適しています。日射時間が十一時間四十五分ないし十二時間で結球し、抽苔が殆んど無く、莖葉は細く、葉身は圓形で、葉數が少く、葉の表面は白粉を附着せず、緑色をしてしています。この品種の特徴は球頸が細い事と、球が或程度に肥大すると莖葉が自然に倒伏する事です。球の重さは二〇〇—三〇〇グラム（六—八臺兩）で、球の肩部が高く盛りあがり、底部が少し

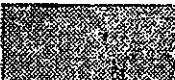
種子量が必要でせうか？、この種子は、種子の發芽率と、育苗技術の良否、すなわち育苗率によつて一定しません。そこで、發芽率を七〇パーセント（七割）とし、育苗率を六〇パーセント（六割）とすると、次の様に計算すれば、十公畝についての播種量が決定できます。

十公畝についての必要播種量 = $3.19 \text{ グラム} \times \frac{26400}{1000 \times 0.7 \times 0.6} = 300.5 \text{ グラム}$ 。

註： $3.19 \text{ グラム} = 1000 \text{ 粒の種子重量}$ 。 $26400 = 10 \text{ 公畝の栽培株數}$ 。 $0.7 = \text{發芽率}$ 。 $0.6 = \text{育苗率}$ 。

必要です。

【播種と管理】 播種量は三・三平方メートル（一坪）について約十六グラムの種子を平均に撒きます。覆土には軽土を使用すると良いが、或は腐熟堆肥を使用しても發育に非常に良い。もし、堆肥で覆蓋を行はない時には、本葉が一・二枚の頃に間引を行ひ有機質の細土で六・九センチの厚さに培土をし、同時に除草を行います。育苗期間中の



（臺北區改良場で收穫した玉葱）

牛は、二十年前、下條と云ふ日本人が、食用蝸牛として始めて、南洋から輸入したのである。ところが試食の結果、味も大したことがないし、肉もかたいので歓迎されず、とうとう山や野に捨てられて、野生になつてしまつたのである。蝸牛の繁殖力は實に旺盛で、一つの母體から一年間に數千個も増殖するので、現在では臺灣の到るところ、都市でも田舎でも、蝸牛がはびこつて惡戯をする様になつてしまつた。

然し、蝸牛の肉は蛋白質や脂肪が多いので家畜や家禽の大へんよい飼料になる。特に蛋白飼料の少ない臺灣では大へんよい蛋白質給源になつて思ふ。

民國三十八年の春、私臺東の知本農場で働いてゐるとき、蝸牛を豚の飼料に使

鍋の中で半時間煮た後、同じ量の刻んだ甘藷を入れ、更に水を加へて半時間ほど煮るのである。すると蝸牛の肉は小さく縮むので、殻から肉を取り出して、殻は捨ててしまふ。それから蝸牛の肉、蝸牛を煮た汁、煮上げた甘藷、蔓を各々三分の一の量で調和して、その外に少量の米糠、食鹽、草木灰を加へて豚にやるのである。約百匹の豚に毎日四回（午前八時正午、午後五時、午後九時各一回）づゝこの飼料を與たのであるが、平均一日二兩から一斤六兩ほど體重増加を見たのである。私の養豚の門外漢でさへこの養

飼料として利用してゐるほか、臺東では一部の人はこれを三度の食事の一部かすにしてゐる。その汁は大へんおいし。私も度々食べて見たことがあるが、話によると臺東の高山同胞は蝸牛を煮て食べる外、これを火烤り(照燒き)にかへりは一層よいそうである。

なほ、蝸牛の殻は石灰を多く含んでゐるので、これを適當に燃焼するとよい石灰土になつて、酸性土壌の改良によいのであるが、臺東では蝸牛の殻が利用されずに山の様に積んでゐるのが、全く惜しいものだ。

(蔣雲蒼)



に古い蓆や袋などを敷せると、暑氣を防ぐことが出来る。

△暑さのために、豚がバドクハバ云つてゐるときに、體全體に數回冷水をかけてやると、すぐ吸呼が樂になる。

△鶏痘の予防には、第一に鶏痘予防液の接種をすること、第二には媒介者の蚊を除することである。

△堆肥の一立方尺の重さは原料などで異なるが、完熟堆肥は四十二斤、中熟のは三十六斤、未熟のは三十斤位である。

△昨年の本省の落花生（栽培面積は約九萬甲で、收量は約六萬噸）の約三分之二は雲林縣から生産されてゐる。

